

浜松市における 外国人児童生徒等の状況と 外国人子供教育推進事業について

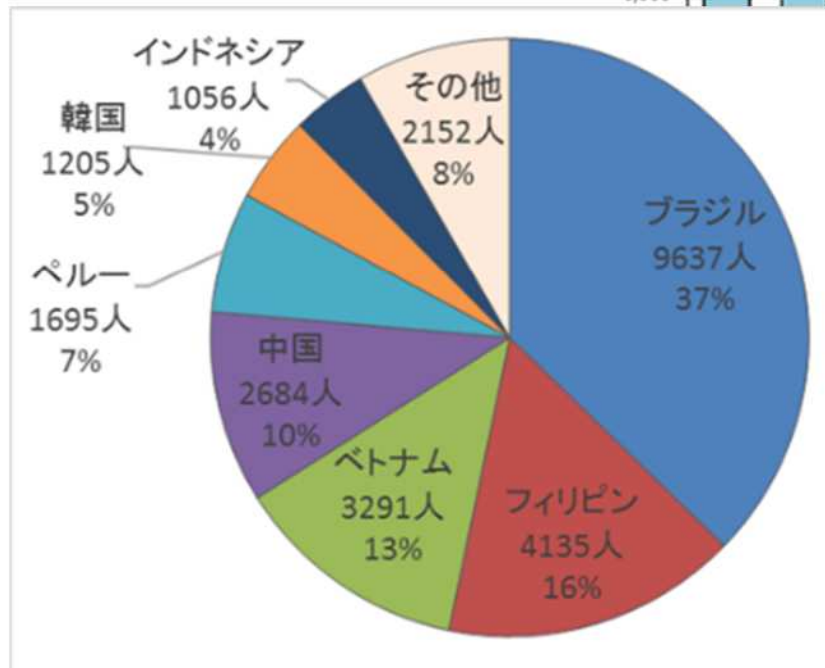
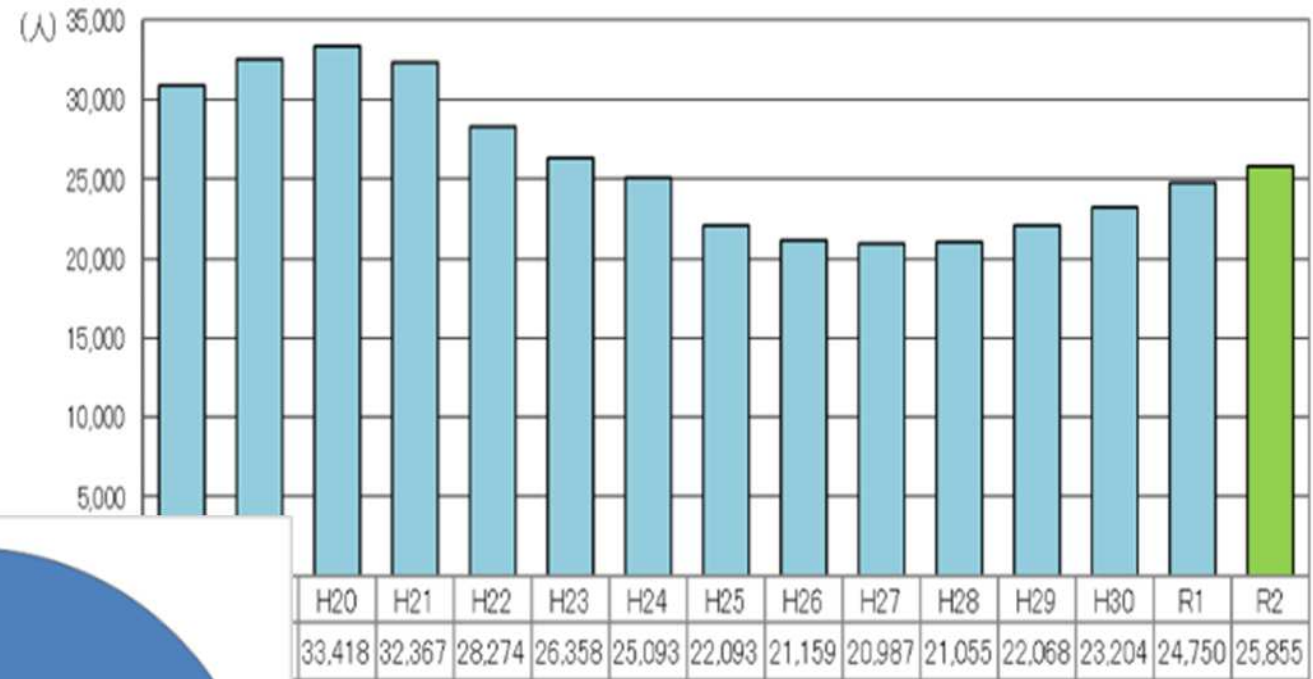
浜松市教育委員会学校教育部指導課
教育総合支援センター
外国人支援グループ

◆将来の浜松を担う次世代の育成・支援◆

人口減少・少子高齢化が進む中、持続可能な活力ある地域社会を維持していくためには、**外国にルーツを持つ子供たちをこれからの浜松を担う重要な構成員と見据えていくことが大切です**。子供たちが自らの持つ力を十分に発揮し、地域社会を支える役割を担う人材となるよう育成・支援に取り組んでいく必要があります。さらに、グローバル化が進展する社会の中、日本人の子供に対する異なる文化を学び理解を深める国際感覚の涵養、そしてコミュニケーション能力向上のための語学力の育成も必要です。

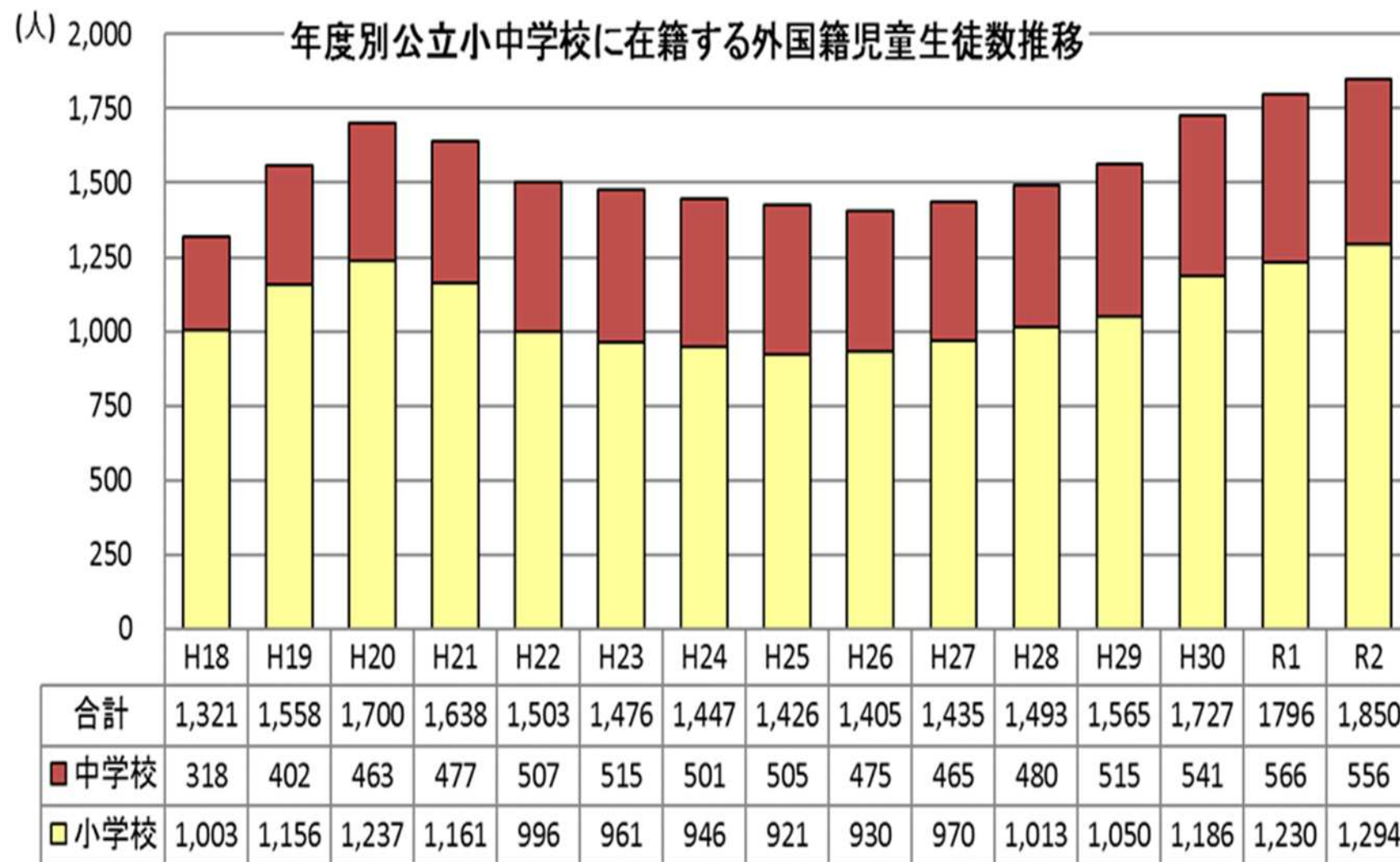
「浜松市多文化共生都市ビジョン」（2018年3月）より抜粋

浜松市 外国人登録者数の推移

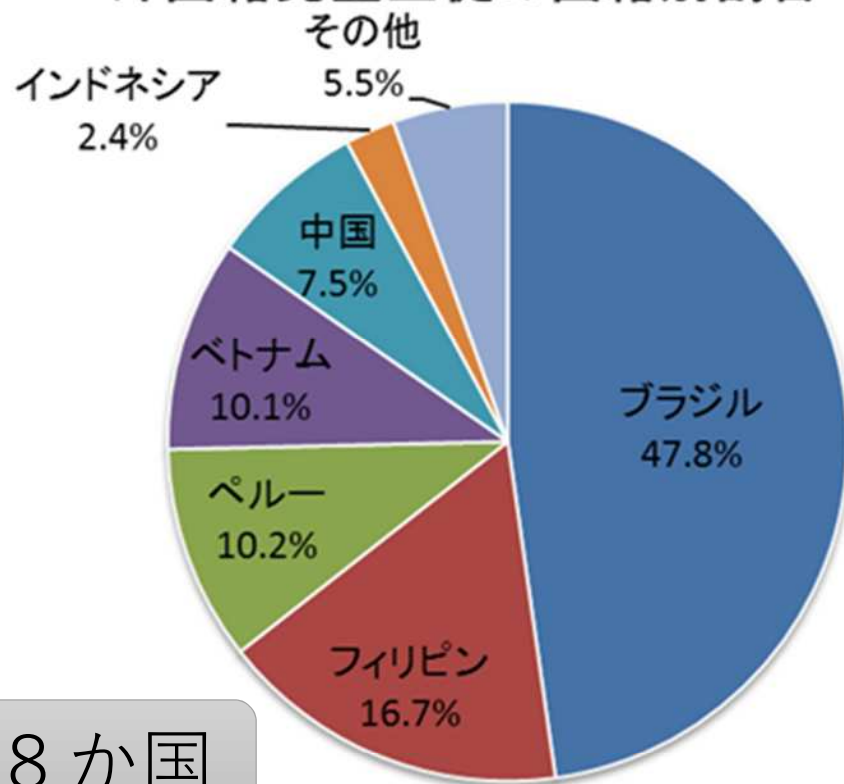


令和 2 年 4 月 3 0 日現在

市立小中学校に在籍する外国籍児童生徒数の推移



外国籍児童生徒の国籍別割合

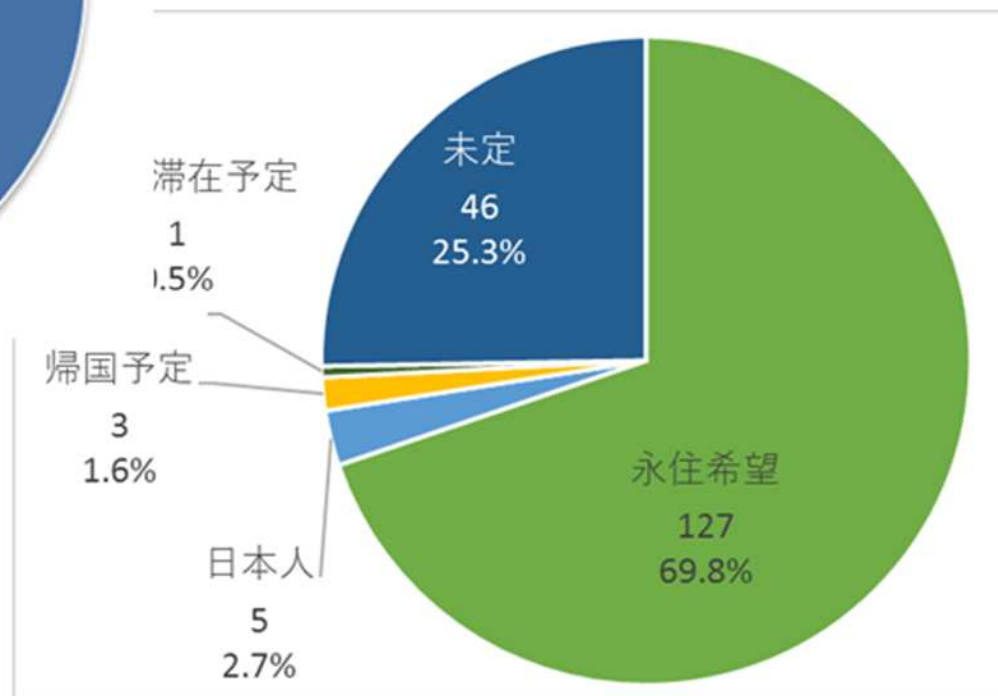


21言語

28か国

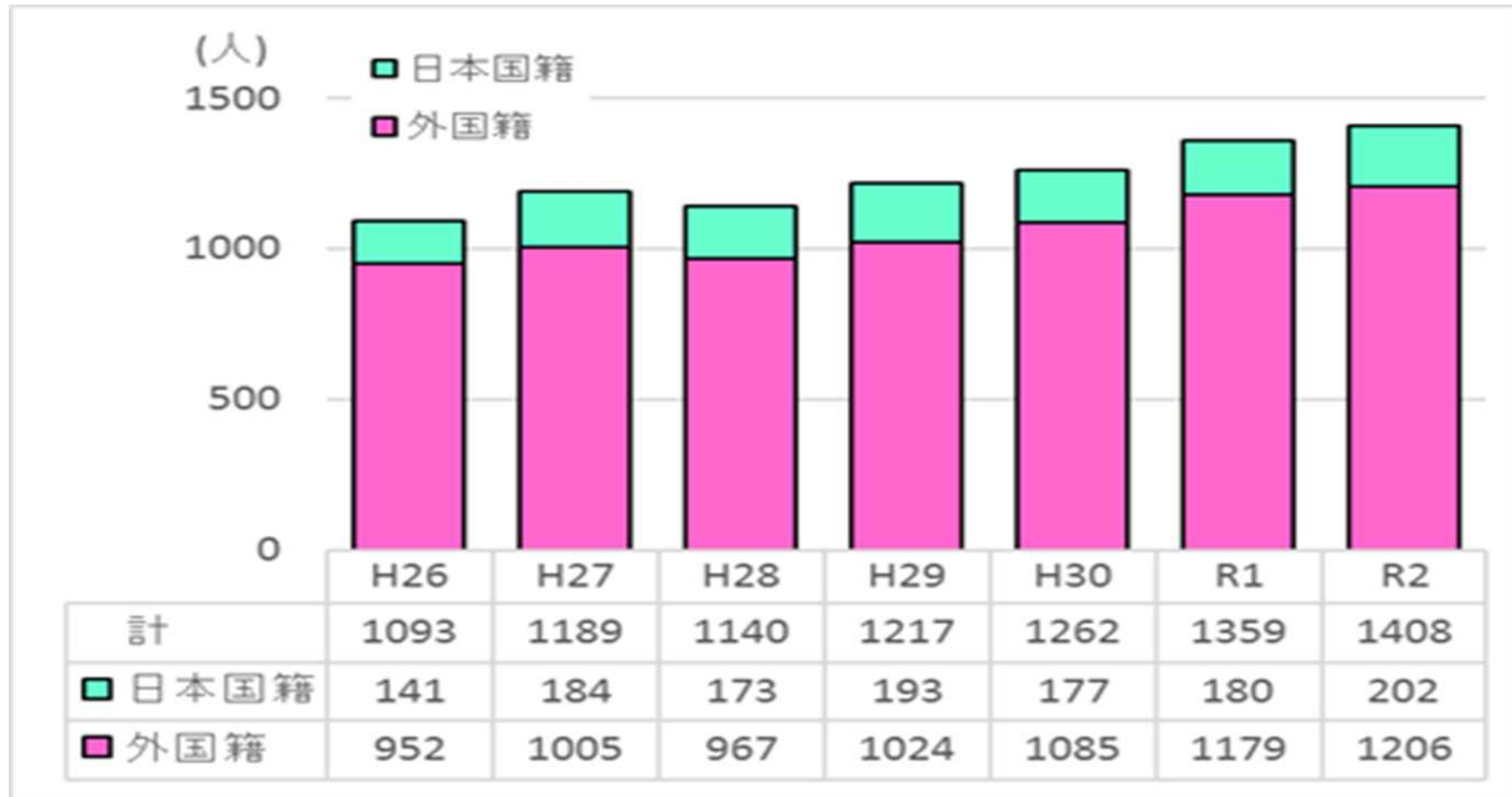
多国籍化

バングラディシュ
パキスタン
スリランカ タイ
ネパール
マレーシア など



令和2年5月1日調査より

日本語指導の必要な児童・生徒数



- ① 日本語で日常会話が十分にできない
- ② 日常会話ができて、学年相当の学習言語能力が不足し、
学習活動の取組に支障が生じている

大切なこと

○子供たちの母語や母文化を大切にする環境づくり

○自分で学習する力

○夢や希望を持つ



外国人子供教育推進事業

児童生徒（保護者）への直接支援

指導者の育成

児童生徒（保護者）への直接支援

- 1 就学相談と適応支援、母語支援
- 2 日本語能力に応じた支援
- 3 ライフコースに応じた支援

1 就学相談と適応支援、母語支援の充実

ア 母語による教育相談

ポルトガル語 スペイン語 タガログ語 英語 フランス語 中国語の
相談員が 教育委員会（教育総合支援センター） に常駐

相談（600件）・・・編入や転入 発達 進路 いじめ 不登校

イ 学校の要請を受けて訪問

生徒指導 面談 懇談会など



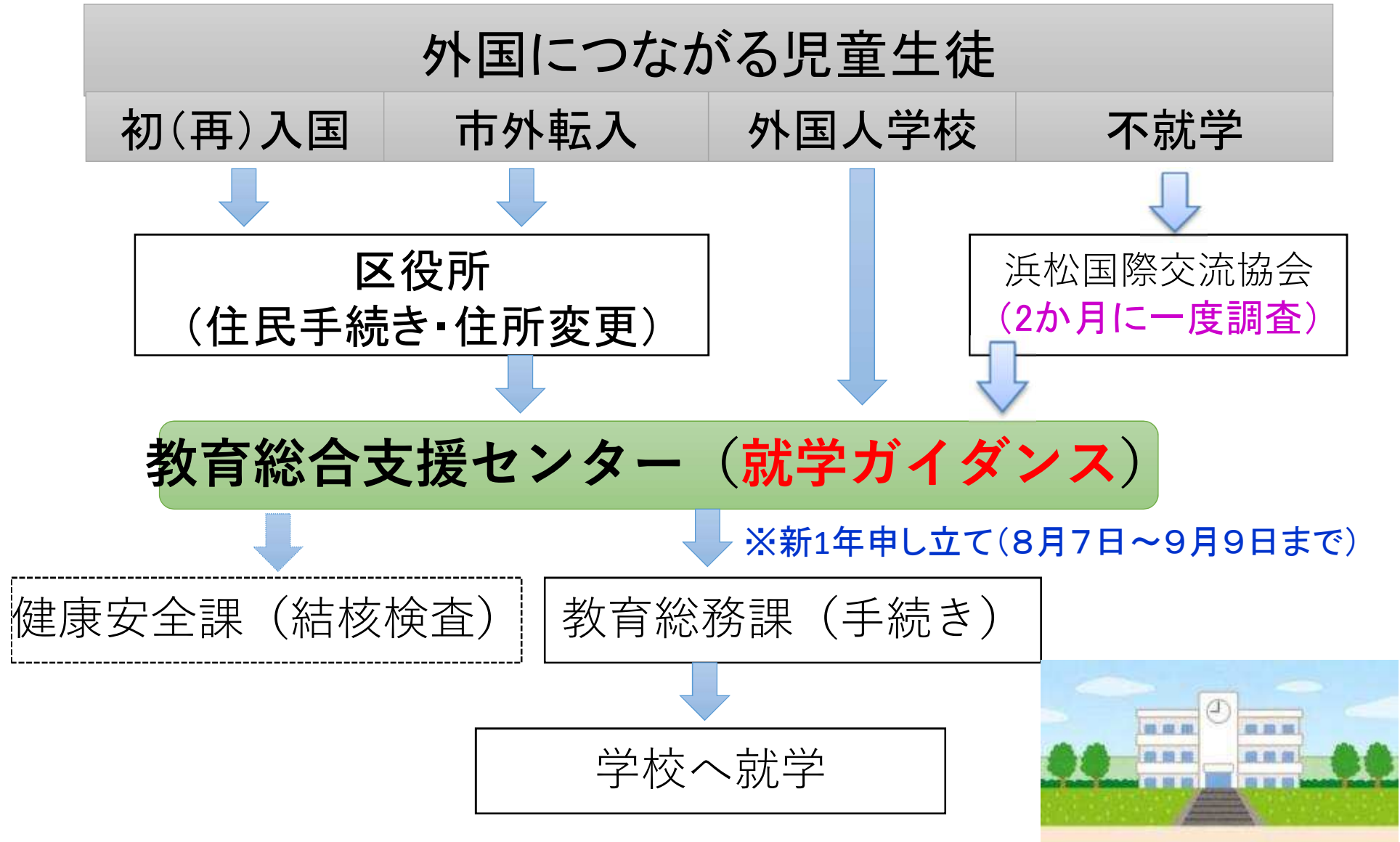
ウ 就学ガイダンスの実施

浜松市へ編入・転入する外国人児童生徒に対し、ガイダ
ンスを行う R 1 年度：学齢181人 新学齢210人

エ 母語教室の開催

（ポルトガル語 スペイン語 ベトナム語）

外国につながる児童生徒の受入



不就学ゼロに向けた取組（国際課）

不就学ゼロ宣言（2013年9月）

浜松モデル

①転入時の就学案内【ウェルカムパック】

区民生活課窓口

②就学状況の継続的な把握

国際課 浜松国際交流協会

- ・ 新小学校1年生を対象とした調査（年度始め）
- ・ 転入者を対象とした調査（2か月ごと）
- ・ 公立小・中学校、外国人学校の退学者を対象とした調査（2か月ごと）

※学齢期の外国人の子どもを対象とした学齢簿に準ずる名簿の整理
（住民基本台帳システムと連動した学齢簿システムの活用）

教育委員会 教育総務課 教育総合支援センター

③就学に向けてのきめ細かな支援

④就学後の定着支援

就学ガイダンスで聞き取る児童生徒に係わる情報

①児童生徒...

氏名(フリガナ)、生年月日、性別、国籍、出生地、
上陸許可年月日、在留資格、居住地、自宅電話、日本語能力

②保護者...

氏名(フリガナ)、児童生徒との続柄、職業、生年月日、
携帯電話番号、日本語能力

③ 状況...

前学校、生育歴・就学歴、家族構成および家庭の状況、帰国予定

④その他...

発達障害等診断の有無・宗教等、

⑤健康狀態...

アレルギー、結核精密検査の要不要

⑥初期適応指導...

初期適応指導の要・不要、 バイリンガル支援者の派遣

外国人児童生徒就学ガイダンス記録									
児童生徒		平成28年度		実施日		F02-2017			
フリガナ						生年月日			
氏 名						性別	国籍		
現住所						連絡先			
保護者に関する情報									
氏 名		続柄	勤務先	連絡先(携帯電話)		Eメール			
フリガナ									
保護者									
配偶者									
保護者の職業									
保護者の収入									
※ 日本語力 A: 通訳も翻訳も必要がない。(非常程度)の教科書の読み書きができる。 O: 読み書き程度で、通訳が必要である。(異) (児童生徒) ※: 会話ができるが文章は翻訳が必要。(かなり)読むのみ。 ◇: 文章通訳ができる程度会話ができる。(日本語の読み書きができない。)									
児童生徒に関する情報									
出生地		上陸許可年月日			在留の資格				
入学予定校		年 校	年	現在の状況		帰国予定			

データで学校に送付

児童生徒の多様な背景を理解し 支援に生かす

言語・文化

国籍・出身地 例: フィリピン＝タガログ語ではない 宗教

日本に来た理由・時期、将来設計

親の就労または留学 永住か帰国希望か
日本生まれ 日本で生まれたが母国との行き来がある

家庭の環境

家族の転職のため転校を繰り返す 外国人学校から編入

自分の母語や母文化とは異なる環境で学んでいる上に、
社会・経済的な条件の変動により困難に直面している

就学ガイダンスで説明する内容

1	日本の学校のシステム
2	夢や希望を持つことの大切さ
3	学校での各種手続き（銀行口座 学童 災害保険など）
4	学校を休むとき 配布物
5	保護者が参加する行事（参観会 家庭 訪問 面談）
6	子供の成長を実感する行事（入学式 卒業式 運動会）
7	P T A活動への参加
8	学校のきまり
9	早寝 早起き 朝ごはん
10	給食とそうじ
11	学校生活に必要なもの
12	就学援助制度

日本語指導が必要な子どもの保護者には日本語指導システムを説明し、**日本語取り出し指導同意書**にサインをもらう。（学校に送付）



2 日本語能力に応じた支援（R2まで）

編入手続き前のガイダンスでの聞き取りで日本語の力確認

初期適応指導が必要

日本語・学習支援は必要

在籍学級で
支援なしで
学べる

1 初期適応指導の実施（取り出し指導）
指導者：就学サポーター
初期適応指導者
4時間×10日

2 日本語基礎指導の実施（取り出し指導）
指導者：NPO日本語教師
70時間

3 日本語と教科の統合学習 指導者：教科指導員

3 教科の補習 指導者：NPO日本語教師

3 授業への入り込み支援 指導者：NPO日本語教師

4 在籍学級において、日本語で学ぶ

3 ライフコースに応じた支援

- 入学準備ガイダンス（2月）プレスクールにて
- 進路について語る会（6月）
- ロールモデルとの出会い（適宜）
- ステップアップクラスの実施

指導者の育成

教員向け研修

外国人児童生徒指導 リーダー研修 7回

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ① リーダー研修了者実践発表
研究テーマを決める | ⑤ D L A 研修 |
| ② J S L 授業参観 | ⑥ J S L 研修「授業案作り」 |
| ③ 国際理解講座 | ⑦ 実践発表 |
| ④ 外国人学校見学
「やさしい日本語」講座 | |

新任日本語指導加配研修 2回

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| ① 日本語指導担当の仕事 | 校内の指導体制作り | 特別の教育課程とは |
| ② J S L の授業参観 | | |

外国人児童生徒等教科指導員研修 3回

- | |
|-------------------|
| ① J S L 授業参観 |
| ② 日本語指導と教科指導のつながり |
| ③ 教材研究・情報交換会 |

バイリンガル支援者向け

バイリンガル研修会 7回

- ① バイリンガルとして期待されること
- ② 発達にかかる就学までの流れと用語理解
- ③ 進学にかかわる用語と
三者面談での通訳の仕方
- ④ 授業へ入り込む際の子供へのかかわり方
- ⑤～⑦ 初期適応指導の仕方と実際

課題

- 多言語化への対応
- バイリンガル人材の確保
- 特別の教育課程を編成実施するための免許所持者の派遣の拡充
- 増え続ける外国人児童生徒等への持続可能な支援者派遣の在り方
- 日本語指導担当者のスキルアップ（学校のグローバル化）と人材確保